

INFORMATION 活動報告

地域の“まちづくりびと”養成講座 入門編

「まちのスキの育て方～創造的都市まちづくりを考えよう～」

平成28年6月19日～9月11日 全5回

中区の錦二丁目界隈を舞台に、まちづくりの手法を学び、体験する入門講座を実施し、講師のまちの縁側育くみ隊の名畑恵氏、過去の講座修了生8名がグループファシリテーターとなり、共に講座の企画運営を進めました。

序盤では、ファシリテーションや合意形成のコツを学ぶワークショップを体験し、受講生のまちづくりへの関心や思いを共有しました。

中盤は、長者町地区でアートや都市の木質化の活動をさせている様々なゲスト講師から話を聞き、まち歩きを行い、まちの魅力や課題を発見・整理しました。

終盤では、まちの魅力や課題をもとにまちづくり企画を検討し、テーマで分かれたグループごとにまちの魅力向上や課題解決に向けた個性豊かな提案が発表され、受講生は真面目に、かつ楽しみながら全5回の講座を修了しました。



夏休み企画「防災サマースクール」

平成28年7月29, 30日

小学4～6年生の子どもを対象に、災害時に自ら判断し対応できる知識や知恵を身につけることを目的として、名古屋大学減災館の見学や、避難すごろく作りのワークショップを行いました。

減災館では、建物構造の見学や、実験道具を通して、防災・減災の基礎について学びました。大地震が起こった時の揺れと建物の中の様子を再現する装置の前では、子どもたちも食い入るように見ていました。

また、避難すごろく作りでは、「金山駅近くの友達の家遊びに来たら、地震発生！家族が買いものしているアスナル金山を目指そう！」という設定のもとグループでまち歩きをした後、危険なところ・役に立つところをマスにして、避難すごろくを作りました。最後には作ったすごろくで遊び、他のグループの作品を体験しました。

2日間、楽しみながら学んでもらったことにより、子どもたちも防災・減災に関心を持ってくれたことと思います。



企画展

「みんなで取り組もう、減災まちづくり」

平成28年8月2～18日

災害時の被害を最小限にするためには、個々で備えるだけでなく、地区として「減災まちづくり」に取り組むことも重要です。そこで、減災まちづくりに取り組むきっかけとなるよう、企画展を開催しました。取り組みの進め方や事例を紹介するとともに、参考文献も展示し、来場者に見ていただきました。また、熊本地震の概要や防災ゲームも展示することにより、多くの方に防災・減災に関心を持ってもらう機会になったと思います。

関連講演会「減災まちづくり入門」では、名古屋工業大学の秀島栄三教授をお招きし、「地区の減災まちづくりガイドライン」をもとに、減災まちづくりの取り組み方についてお話いただきました。また、減災まちづくり情報システム (ISDM) の活用方法も紹介し、講演会後には多くの方がご自宅周辺の情報を調べて帰られました。



SNS での情報配信

◆メールマガジン「まち活サポートネット」

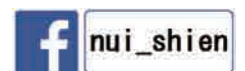
名古屋でまちづくり活動をされている団体から寄せられた情報や名古屋都市センターからの情報などをお届けします。QRコードを読み取り、空メールを送信後、利用規約に同意のうえ、ご登録ください。

【QRコード】



◆まちづくり活動支援 Facebook

まちづくり活動団体のイベント情報や名古屋都市センターからの情報などをお届けします。



◆中川運河助成 ARToC10 Facebook・Twitter

中川運河の魅力向上につながる現代アートへの助成「中川運河助成ARToC10」の最新情報を見ることができます。

